

## 別記様式

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成 27 年 5 月 17 日（日）午後 2 時から午後 4 時 30 分				
開催会場	総合会館				
班長	川合敏己				
司会者	川合敏己				
報告者	第 1 部：富田牧子 第 2 部：小川富貴				
記録者	第 1 部：山田善弘 第 3 部：山根一男、天羽良明、伊藤壽、野呂和久				
参加議員	林 則夫	富田 牧子	伊藤 健二	小川 富貴	中村 悟
	山根 一男	野呂 和久	天羽 良明	川合 敏己	澤野 伸
	山田 喜弘	板津 博之	出口 忠雄	伊藤 壽	
参加者数	20 名				
実施内容	第 1 部：平成 27 年度予算審査について（報告・質疑応答） 第 2 部：議員定数・報酬について（報告） 第 3 部：議会・議員の活動について（意見交換）				
主な意見 提言等	<p>第 1 部（質疑応答）</p> <p>問 民生費 34.4% のことだが推移を聞きたい。答えは広報で結構である。</p> <p>答 10 年前の民生費予算額 52 億 3 千万円。27 年度予算額は 98 億 5 千万円で約倍近くである。</p> <p>問 推移を聞いたのは、10 年前と今とどのように変わってきたか。その当時の状態と今の状態との問題点は何か。その対策はどううたれているか。これからどう打っていかうとしているのか。</p> <p>答 ・対策として議会としてまとまった意見はない。議会の課題として対応していきたい。</p> <p>・これから民生費がどの市町村も膨らんでくる。本市は健康づくりとして K ルートを整備し身近な健康づくりに取り組んでいる。また、K ケアシステムに取り組んでいる。議会は市政のチェックをしながら提言をし、今後さらに少子高齢化していくので、しっかりと議会として議論をしていく。詳細は後日としたい。</p> <p>・民生費のどうゆうところが膨らんでいるのか。例として、可児市の一般会計からの拠出金が増えている。国民健康保険税や介護保険事業などへの支出が増えている。</p> <p>・医療・介護が 10 年前と比べ増えている。</p> <p>意見 高齢者がどんどん増えていき、介護保険の利用も増えていく。国民健康保険を掛ける人も減っていく。市政をしっかりと監視して欲しい。</p>				

### 第3部（意見交換）

#### 議会・議員の活動について

議員は品位が求められる。居て欲しい議員、居て欲しくない議員、その中間の議員という3種類に大別できると思う。議員として最低限は必要な資質を持ち合わせているかどうか。議員としての使命感に立っているかどうか問われる。そうしたものが無いと思われる議員もいると感じている。定数を減らしてもそうした議員は出てくる。4年間一度も質問をしない議員もいる。そうした議員は議員としての使命を感じているのかと思う。市民の意見を聞いているのかそれがどう質問など議会活動に反映されているのかが分かりづらい。

1つの委員会に7～8人が望ましいとのことだが、議員は複数の委員会に所属できるので必ずしも委員会数×7～8人が議員必要数（定数）とはならないのではないかと。だから議員の定数を減らせという意味ではないが。

議員定数について、中恵土には地元選出議員がいない。以前には2名いたこともある。財政的なことも大事かもしれないが、本音を言えばやはり地元のことが分かる議員がいてほしい。定数が少なくなれば益々、地元の声が届かなくなる。

職業議員としてどうか。もう少し小さい規模からボランティアで行っていくべきだが、10万人規模は専門性も備えていくべきである。

議会だけでなく見えない部分があるので専門性を持って行ってもらうのが良い。議員の専門性が必要になっており、市民にその付託を受けている。専門性を持って職業として行ってもらうのが良い。

議員定数について適正かどうか分からない。

議会に委員会は幾つあるのか。また委員会の所管内容が分からない。

報酬、定数は、ミッションによって決まるがどうゆうところから導き出されたのか？

議員報酬については、自治体の財政体力や規模に応じて考えるのが良いのではないかと？

生涯賃金で比較すべきではないか。

可児市は、総務省が示している地方公共団体であり、定数は良いが、報酬は上げてても良い。

報酬は自分たちで決められないので、第三者機関で決めてもらうのが良い。

可児市は議会活動が活発だと感じる。政務活動費2万円が妥当かは、目的により変えてもいい。

政務活動費については月額2万円の必要性について理解できるような説明を。

視察については必ず行くのか、その必要性について。

議員にはボランティア精神が必要であり、ある程度ゆとりがあって、時間的にも余裕なければならない。生活に困らなくて、ちゃんと市民のために仕事ができる人に投票したい。

新しく出来た駅前の橋もあまり利用されていないのではないか。駅前のにぎわいづくりや拠点施設についても議員が強力に進めていって欲しい。行政の施策や進め方でダメなものはダメとはっきり言っていける議員であって欲しい。

ケーブルテレビを見ているが、ほぼ同じ議員が質問に立っている。議員として質問をするよう議会内部で指導等が必要ではないかと日頃見ていて感じる。また、市民の目線に立った議員であって欲しい。

発言のまったくない議員がいる。使える議員にしっかり仕事してもらえれば良い。

市民の声を市政に届ける上で、このような場は本音で意見が言える場ではない。議員の方は、やられてはいると思うが、もっと個々に職場や地域などから様々な意見を聞き、それを集約して市政に反映してほしい。

議員になりたい人が少ない。4年間の任期しかなく、次にどうなるか分からない。会社などにおいて議員の間、休職制度があるような制度改革をすると議員になる人が増える。60歳以下で休んでも不利にならないような制度を作ることである。

以前に比べて議会報告会も良くなったが、もっと分かりやすい報告会にすると市民の関心もさらに増すのではと思う。

議会だよりも良くなったと思うがもっと議員の活動を報告してはどうか。広報のあり方も何のために出しているのかという原点に戻って、さらに工夫をして読んでもらえる議会だよりにしていくことが必要ではないか。

ネット社会で情報が簡単に取れる社会となり、将来はもっと進んでいくがどうか。若い人もそうだと思いますが、私自身、自治会に関係するようになり、関心がでてきた。今まで無関心でしたが、議員に対する見方が以前と変わった。

県議会議員との情報交換も必要ではないのか。

現年度の予算に決算審査は反映されているのか。

直接コミュニケーションを議員間で行うことも大事。

行政が年度末に予算を使い切るといった問題が指摘されるが議会としてどう対処しているのか。節約などにより予算が余るといった事は良いと思うが。

#### **議会・議員の活動以外に関する意見**

投票率の低下が問題だ。高齢化が進む中、投票所まで行けない人が増えている。連絡所単位の期日前投票や在宅での投票などいろいろ工夫してほしい。

若者達の政治への関心づけに努力して欲しい。18歳選挙に市は、どう対応するかを考えたいたほうがいい。

マイナンバー制度に関しては、個人情報についてかなり細かく把握される。不安も多いが、あまり個人情報だからだめだということもどうか…しっかりチェックしてほしい。

マイナンバー制度については、まだ稼働していないと聞いている。住基カードもある中どうなのかと思う。もう少し情報がほしい。

可児市においては公民館単位の自治連合会組織が定着していて、地域要望も自治会・自治連合会単位で出すが、自治会の役員は1~2年で変わってしまうことが多い。市からはいろいろな要請が来るが、地元からの声は自治会要望一本に絞られ声が届けにくくなった。

子育て施設は、駅前ではなく子どもがのびのびと遊ぶことの出来る自然環境のよい場所に造るほうが良いのではないか。

高齢化が進み地域により公共の場の草刈作業が大変です、行政で対応できないか。

可児市内の地籍調査を進めて欲しい。

市で子育てに力を入れているが動物園があると良いと、孫の子育てを見て思う。富山市は30万人位だが動物がいて市民に親しまれている。

平成27年5月29日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 総合会館会場 班長 川合敏己 ㊞